

夏の preparing for the summer  
ことはじめ



5月23日<sup>木</sup>～5月25日<sup>土</sup>  
いわき店 営業時間 10:00～18:00 定休日 日・祭日  
いわき市平字三倉69-8 第2地産ビル1階 TEL 0246-85-5298

# 2024 新作浴衣発表会

今年も女将が日本橋の老舗浴衣メーカーより厳選した、  
新作の浴衣が入荷！きもの雑誌「七緒」や「美しい  
キモノ」に掲載された大人の浴衣が揃いました。  
また今年には新たに明治23年創業の江戸小紋染  
め工房「石塚染工」の浴衣も入荷しました。  
夏キモノとしても長く愛用できる、手  
仕事の浴衣をぜひお詠え  
ください。

江戸の  
技

## 東京本染注染が 伝統工芸品に仲間入り

ゆかたは、主に湯上がりに着る着物として発展を遂げました。正装ではないにもかかわらず、ゆかたに上質さと洒落っ気が求められたのは、ひとえに江戸の人々の“粋”な気質によるものです。19世紀後半に入ってゆかたは部屋着・寝間着として定着しました。薄手の木綿生地は通気性に優れ、汗をかいた肌に密着しにくく、見た目の涼しげな印象もあり、日本の夏の風物詩と称されています。

本染注染とは、江戸末期に技法の基本が確立した型染技術で、生地を屏風畳状に折り重ねながら防染糊を型付けした後、重なった生地にヤカン（ジョウロ型の道具）で染料を注ぎ染める日本独自の技法です。令和5年10月26日に経済産業省は伝統工芸品として「東京本染注染」を新たに指定しました。



